■米国：アトランタ市が 2035 年までに再エネ 100%の電力供給を目指す

2017 年 5 月 3 日の報道によると、ジョージア州の州都で約 45 万人が居住するアトランタ市は、市の電力供給を 100%再エネで賄う目標を定めた。目標達成に向け、アトランタ市の持続可能性（サステナビリティ）局は、2025 年までに市が利用する電力を再エネに切り替え、その後 2035 年までに市全体の電力を再エネで賄うべく、2018 年 1 月までに具体的な計画を策定するとしている。なお、サンディエゴやシカゴといった都市が同様に再エネ 100%を目指しており、アトランタを含めその数は 27 に上っている。